

災害時における避難所の感染症拡大防止対策

避難所における感染症の拡大を防止するため、指定避難所では以下の取り組みを行っています。指定避難所へ避難するときは、マスクをつけて、受付等では人との距離を保つようお願いいたします。

受付の体制強化

- 体調不良者がすぐに把握できるよう、事前受付を設け、検温や聞き取りを行います。


体調不良者向けの専用スペースの確保


- 体調不良者と元気な人がいっしょに過ごさないように場所を決めて、体調不良者専用のスペースを確保していきます。

避難スペースにおける感染症対策の徹底


避難スペース内においては以下の感染症対策を行います。

 避難スペースでは人と人との距離を確保する

 換気をする

 定期的に施設を

清掃・消毒をする

 手洗い・手指消毒の徹底

など



障害のある方のための

在宅避難のすすめ

新型コロナウイルス感染症をふまえ

災害時の行動をチェック



避難所は、3密(密閉、密集、密接)で病気がうつりやすい場所です。新型コロナウイルス感染症にかかる危険があるので、在宅避難もできるよう、日ごろから準備をしましょう。

1 災害リスクを知る

ハザードマップで自宅が浸水するか等の災害リスクを確認します。避難が必要なときは近くの指定緊急避難場所を確認しましょう。



市ウェブサイト

防災マップ [検索](#)

地区防災カルテ [検索](#)

2 日頃から備える

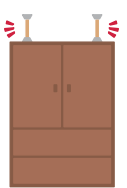
在宅避難の準備をしておきましょう。

- 食料や水など必要なものの備蓄
- 薬など自分の障害に合わせた必要なもの(7日分くらい)
- 非常持ち出し品に以下のものをプラス

体温計、マスク、アルコール消毒液、スリッパ、ゴミ袋



- 住宅の耐震化
- 家具などの転倒防止対策など



中川区災害時要配慮者(障害者)支援ガイドブック

[検索](#)

障害のある方やその支援者が災害に対する備えを十分にするために、

中川区災害時要配慮者(障害者)支援ガイドブック


を参考にしてください。



3 避難行動の流れの確認

災害発生

- 自分の命を守ろう
- けがや体調不良を確認



命を守る

- 自宅で命が守れるか確認

守れない時

親戚・友人宅へ
指定緊急避難場所へ

どこで生活するか

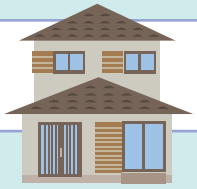
- 災害の恐れがなくなったら、自宅に住めるか判断

住めない時

親戚・友人宅へ
指定避難所へ

在宅避難スタート

- 自宅で過ごせる場所を確保する




非常用トイレを準備

4人家族が10日間にトイレを利用する回数は約200回

自宅のトイレを利用した非常用トイレの作り方


- ビニール袋をかぶせる
- 新聞紙をちぎって入れる
- ビニールの口をしぼる
- 可燃ごみとして捨てる



汚物の処理を含めて事前にやってみて、できるようにしておく


避難者登録

- 在宅避難をしても、指定避難所で避難者登録をすると、指定避難所で食料などの支給が受けられます




情報収集

- 生活に必要な情報を手に入れる




水の補給

- 季節を問わず、しっかり水分をとることが大切
- 備蓄の水が少なくなったら給水車や給水場所に受け取りに行く



心と体の健康を保つ

- ストレッチや体操をこまめに行い、エコノミークラス症候群を予防
- 十分に休んで体力を温存する



食事について

災害発生後～ エネルギー補給

- チョコレートやビスケットなどそのまま食べられる食品でエネルギーと水分を補給する



少し落ち着いたら…

- 冷蔵品など傷みやすい物から順番に、10日分程度の献立を考える



火を使っても危険がなくなったら…

- カセットコンロなどを使って温かい食事をつくる

